

対コンゴ民主共和国 事業展開計画

2018年 4月 現在

基本方針 (大目標)	国家再建に向けた平和の定着及び経済社会発展への支援
---------------	---------------------------

重点分野1 (中目標)	平和の定着				実施期間						支援額 (億円)	備考	
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度			
開発課題1-1 (小目標) 治安セクター改革	【現状と課題】 10年以上続いた内戦後、2002年の暫定政権を経て、2006年に独立以来初の民主的選挙が行われ、カビラ大統領が就任した。2011年に同大統領が再選され、翌年5月から内閣・国会が本格的に稼働し始めたことを受け復興・開発に向けた取組が行われている一方で、東部を中心に不安定な治安情勢が続いている。また、特に2018年12月には大統領選挙を含む一連の選挙が予定されており、同選挙後のコンゴ(民)の治安情勢を注視していく必要がある。コンゴ(民)最大の課題として、治安維持関連機関の能力強化が挙げられ、現在、第2次貧困削減戦略文書(PRSP2)、アジスアベバ平和治安枠組み合意等の国家開発戦略の柱の1つとして、治安セクター改革(軍・警察・司法)が進められている。その中でも、国民生活の安全に直結する警察の質・能力向上は引き続き喫緊の課題である。		【開発課題への対応方針】 国家の安定に欠かせない治安の維持確保のため、国連PKOミッション(MONUSCO)、コンゴ(民)国家警察(PNG)との協力で実施している警察に対する能力強化支援を継続する。治安情勢を十分踏まえつつ、ニーズが高い東部への展開を検討する。なお、治安セクターでは、国際機関との連携が重要であり、二国間、多国間の枠組みを有機的に組み合わせた平和の定着に資する案件の形成を目指す。										
	警察改革プログラム	治安セクター3分野(警察、司法、軍)改革のうち、警察改革について、関係者の人材育成、組織能力強化、一般市民への啓蒙を目的とした支援を行う。	市民と平和のための警察研修実施能力強化プロジェクト	技プロ							3.68	国際連合コンゴ民主共和国安定化ミッション(MONUSCO)、国連警察(UNPOL)連携	
			仏語圏アフリカ刑事司法研修	第三国研修									
			平和構築分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.69		
			カサイ地域及びタンガニーカ州において紛争の影響を受けている脆弱な人々の保護及び社会安定化のための緊急対応	マルチ							2.0百万USD	国連開発計画(UNDP)	
			爆発性危険物および小型武器による脅威削減を通じた人間の安全保障と安定化	マルチ							0.5百万USD	国連PKO局地雷対策サービス部(UNMAS)	
			コンゴ(民)における紛争被害を受けている子ども及び地域に対する包括的緊急支援	マルチ							2.5百万USD	国連児童基金(UNICEF)	
			難民・国内避難民・ホストコミュニティの住民間の性と性差に基づく暴力(SGBV)の予防および対策支援、質の高い性と生殖に関する健康サービスのアクセス改善	マルチ							0.5百万USD	国連人口基金(UNFPA)	
			コンゴ(民)における緊急支援活動及び復興支援活動	マルチ							1.5百万USD	赤十字国際委員会(ICRC)	
			カサイ地域で発生した紛争の影響を受けた脆弱な人々の保護支援・衛生な水サービス・基礎医療ケアの提供	マルチ							0.9百万USD	国際移住機関(IOM)	

重点分野3 (中目標)	経済開発																																																																															
開発課題3-1 (小目標) 雇用促進	<p>【現状と課題】 コンゴ(民)では高い失業率が大きな問題となっており、都市部においては人口増加率の高さと相まって治安悪化の一因となっている。また、産業発展を担う技術人材が不足しており、経済発展の阻害要因となっている。このような中、同国においては職業訓練を通じた能力開発及び雇用促進支援が政府の重要課題となっている。 コンゴ(民)にはいくつかの職業訓練校が存在しているが、雇用・労働・社会保障省が所管する国立職業訓練機構(INPP)が全国26州に30以上の拠点を持つ同国最大規模の公的職業訓練組織である。現在、INPPは指導員の高齢化及び施設・機材の老朽化という問題を抱えており、若手指導員の育成及び施設・訓練機材の近代化が引き続き喫緊の課題である。</p>			<p>【開発課題への対応方針】 「平和と成長のための学びの戦略」の下、我が国は、雇用確保、産業振興、生計向上に繋がる教育支援を重視している。国立職業訓練機構(INPP)を対象に、技術協力及び無償資金協力を組み合わせ、同校の指導員の能力強化、カリキュラムの改善及び施設・機材の近代化を図っていく。 また、INPPへの協力を通じて地方への裨益を図っていくとともに、中部アフリカ地域諸国の産業人材育成の中核拠点として位置づけ、同地域の産業人材育成機能強化に資する協力を展開する。</p>																																																																												
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">実施期間</th> <th rowspan="2">支援額 (億円)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>2017 年度 以前</th> <th>2018 年度</th> <th>2019 年度</th> <th>2020 年度</th> <th>2021 年度</th> <th>2022 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11.78</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>32.50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						実施期間						支援額 (億円)	備考	2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度							11.78								32.50																																									
	実施期間						支援額 (億円)	備考																																																																								
	2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度																																																																										
							11.78																																																																									
							32.50																																																																									
産業人材育成 プログラム	国立職業訓練機構(INPP)の能力強化(ソフト・ハード)を通じて、同校が産業界のニーズに合致した質の高い職業訓練を提供することを目指す。		国立職業訓練機構能力強化プロジェクト	技プロ	■	■	■				11.78																																																																					
			カタンガ州ルブンバシ市国立職業訓練校整備計画	無償	■	■						32.50																																																																				
			職業訓練関連課題別研修	課題別研修他	■	■																																																																										
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)「修士課程およびインターンシップ」プログラム(第2バッチ)	国別研修	■	■																																																																										
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)「修士課程およびインターンシップ」プログラム(第3バッチ)	国別研修	■	■	■																																																																									
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)「修士課程およびインターンシップ」プログラム(第4バッチ)	国別研修	■	■	■	■																																																																								
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)「修士課程およびインターンシップ」プログラム(第5バッチ)	国別研修	■	■	■	■	■	■	■	■																																																																				

開発課題 3-2 (小目標) 経済インフラ整備	【現状と課題】 コンゴ（民）大統領は5つの優先課題の中の最優先課題としてインフラ整備を挙げており、策定中の第三次貧困削減戦略文書（PRSD）および優先行動計画においても、インフラ整備が優先課題として挙げられている。中部アフリカ地域の物流改善も視野に入れた、総合的なインフラ整備（都市道路、地方道路、橋梁、港湾整備等）が広大な国土と豊富な資源を持つ同国のポテンシャルを高めるためには引き続き喫緊の課題である。			【開発課題への対応方針】 コンゴ（民）の経済発展に寄与する運輸・交通セクターの開発の方向性を考慮の上、人口増加の著しい首都圏の主要道路整備や交通改善と共に、マタディ橋や既存道路の維持管理能力を向上、若手人材の育成を図る。さらに、人口増加、経済成長に伴いボトルネックとなる部分については、日本の質の高いインフラ投資を通じたコンゴ（民）政府の経済発展のための取組を支援する。								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
経済インフラ整備 (運輸網・都市整備、 電力)プログラム	復興開発の基盤となるインフラ整備・改修を実施する。	経済社会開発計画	無償	■							5.00	
		道路維持管理能力強化プロジェクト	技プロ	■							3.80	
		キンシャサ市都市交通マスタープラン策定プロジェクト	開発計画	■							6.15	
		キンシャサ市道路維持管理機材整備計画準備調査	協準		■						5.28	
		経済インフラ整備分野の課題別研修	課題別研修他	■								
その他 個別の案件	上記課題に含まれない案件	食糧援助	無償		■						2.00	WFP連携無償
		農業・農村開発関連課題別研修	課題別研修他	■								
		教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償		■						0.36	
		柔道スポーツ施設建設計画準備調査	協準	■								
		ゴマ地区自然災害対策危機管理能力強化	財務省技協	■	■						2.00	世銀防災グローバル・ファンリティ基金 (GFDRR)

重点分野4 (中目標)	環境保全											
開発課題4-1 (小目標) 森林保全	【現状と課題】 コンゴ盆地はアマゾンに次ぐ世界第2位(アフリカ全体の約6割)の熱帯雨林で生物多様性に富んでいるが、2040年までにその7割が消滅する可能性もWWFより警告されている。コンゴ(民)における森林面積は154万km2を占め、CO2約140Gt(世界の排出量3年分)を蓄積しており、近年の気候変動対策枠組条約締結国会議(COP)で議論されている「森林減少・劣化防止を通じたCO2排出削減(REDD)」の対象候補地として高い潜在性がある。他方、こうした国際的枠組を通じた森林保全を促進するためには森林資源等の現状把握が必要であり、横行する違法伐採に対処するためにも、基礎データ整備が急務となっている。				【開発課題への対応方針】 コンゴ(民)に対する環境・気候変動対策無償による森林保全関連機材の供与および国家森林インベントリー構築支援に関する開発計画調査型技術協力プロジェクトを通じ、環境持続可能開発省本省及び3州支局の実施体制強化と森林モニタリング強化が行われた。これまでの支援を踏まえ、他ドナーとの連携・調整に留意しつつ、クィール州でのREDD+パイロットプロジェクト実施や個別専門家派遣を通じて、国家森林モニタリングシステム構築や温室効果ガス排出量算定値策定能力の強化等、持続的森林管理の促進及びREDD+実現に向けた支援を継続していく。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	コンゴ盆地森林保全・監理プログラム	森林モニタリング強化、インベントリー整備及びREDD+実施体制強化を図る。	国際熱帯木材機関(ITTO)・生物多様性条約(CBD)共同プロジェクト	マルチ	2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	1.3百万USD	国際熱帯木材機関(ITTO)連携
			持続可能な森林経営及びREDD+促進のための国家森林モニタリングシステム強化プロジェクト	開発計画	2017年度以前						8.33	
			国家森林モニタリングシステム運用・REDD+パイロットプロジェクト	技プロ								
			森林・気候変動対策政策アドバイザー	個別専門家								
			コンゴ盆地における持続可能な熱帯雨林経営と生物多様性保全のための能力強化計画	マルチ	2017年度以前						2.78	国際熱帯木材機関(ITTO)連携
			COMIFAC諸国における生物多様性保全・利用および気候変動対策促進プロジェクト	技プロ	2017年度以前							
			南部アフリカ地域持続可能な森林資源管理・保全プロジェクト	技プロ	2017年度以前							
環境保全分野の関連課題別研修			課題別研修他	2017年度以前								
【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別研修」(=個別研修)、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」及び「普及・実証事業」並びに中小企業連携促進基礎調査)、「実線」(=実施期間)、「破線」(=実施予定期間)												